

## 令和3年度江東区環境審議会（臨時会）会議録（書面開催）

1 書面開催日程 令和3年6月18日～令和3年6月25日

### 2 審議会委員

会 長	柳	憲一郎（明治大学教授）
副会長	長谷川	猛（元東京都環境局理事）
委 員	芦谷	典子（東洋大学教授）
	奥	真美（東京都立大学教授）
	村上	公哉（芝浦工業大学教授）
	市川	英治（東京商工会議所江東支部副会長）
	岡野	俊也（東京ガス株式会社東京東支店支店長）
	平岩	直哉（東京電力パワーグリッド株式会社江東支社支社長）
	岡本	一恵（区民公募委員）
	田中	真司（区民公募委員）
	池崎	一雄（区民委員・江東区立中学校PTA連合会長）
	米沢	和裕（区議会・区民環境委員会委員長）
	石川	邦夫（区議会・区民環境委員会副委員長）

### 3 議題

#### 【審議】

「環境基本計画（後期）令和2～6年度」の地球温暖化対策の推進における次の2点について

- （1）二酸化炭素排出量の削減目標（値）の妥当性
- （2）地球温暖化対策への新たな取り組みの提案

### 4 配付資料

資料1 江東区環境審議会委員名簿

資料2 答申（案）

資料3 諮問に対する意見の集計について

参考 江東区長から江東区環境審議会への諮問（写）

## 5 書面開催の経緯

令和3年度江東区環境審議会（臨時会）は、新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大防止のため、会を設けての実施を取りやめ、書面での開催としました。

書面開催では、配布資料を郵送にて送付し、議題について各委員に意見書の提出を求めました。

## 6 結果

### （1）議題について

全委員にて了承となりました。（1名の委員が「会長一任」）（別紙1）

### （2）ご意見・ご質問について

今回の審議にあたり、4名の委員からご意見等がありました。（別紙2）

# 別紙 1

令和3年度江東区環境審議会（臨時会）の議題とご意見等について

区 分	氏 名 (敬称略・順不同)	意見書の 提出	議題の 了承	ご意見等
学 識 経 験 者 (5名)	芦 谷 典 子	○	了	
	奥 真 美	○	了	○
	副会長 長 谷 川 猛	○	了	
	村 上 公 哉	○	了	
	会 長 柳 憲 一 郎	○	了	○
事 業 者 代 表 (3名)	市 川 英 治	○	了	
	岡 野 俊 也	○	了	
	平 岩 直 哉	○	了	○
住 民 代 表 (3名)	岡 本 一 恵	○	了	
	田 中 真 司	○	了	
	池 崎 一 雄	○	会長一任	
区 議 会 議 員 (2名)	米 沢 和 裕	○	了	
	石 川 邦 夫	○	了	○

No.	委員名	ご意見・ご質問	事務局回答
1	奥 委員	資料2答申の一部修正をお願いできればと存じます。	ご意見をありがとうございます。答申へ反映いたしました。今後ともよろしく願い申し上げます。
2	柳 会長	特段の追加の意見はございません。ただ、東京都の50%削減の目標も、各区等の取り組みの延長線上にあるものですから、一層の努力を求める施策の策定が重要と認識しております。	ご意見をありがとうございます。区としても、施策の策定が重要であることを認識しております。省エネの促進、リサイクルの推進などにより、脱炭素社会の実現を推進するため、引き続き、効果的な施策を検討してまいります。
3	平岩 委員	現行の目標値（37.6%）をできるだけ高く引き上げる、と言う表現は適切であると感じます。目標クリアのための施策としては、例えば技術的に開発できて居たり、その目処が立っているものについては、軒並み積極的に採り入れることを推進出来る補助金制度の創出など、幅広い取組を展開する事が必要と考えます。（例えば自動車で言えば、PHV、EV、FCV等全て、普通自動車のみならず商業者や公共車にも、といった格好で、選択肢を狭めない対応、等をイメージ）	ご意見をありがとうございます。答申を踏まえ、区では、2050年までの脱炭素社会の実現のため、現行の目標値（37.6%）の引き上げを検討してまいります。幅広い取組の展開にあたり、現行の江東区地球温暖化防止設備導入助成事業の、一層の充実を図ってまいります。
4	石川 委員	ゼロカーボンシティの表明は、取り組みの責任をあらわす有効な手段と捉えている。表明を前向きに検討していくことを要望する。	ご意見をありがとうございます。答申を踏まえ、ゼロカーボンシティの表明を前向きに検討してまいります。